

鳥取知事「第8波始まった」 対策に50億円補正提案へ 新型コロナ

2022/11/10 毎日新聞



新型コロナウイルスが感染拡大傾向にあるのを受けて、鳥取県の平井伸治知事は10日、定例記者会見で「第8波が始まった、と現場では感じている」との認識を示した。そのうえで「第8波緊急対策費」として、総額約50億円を盛り込んだ補正予算案を県議会の12月定例会に提案する方針を明らかにした。

平井知事は県内の感染状況について、「急拡大しており、年末に向け十分な警戒が必要。特に事業所やデイサービスのクラスターが多発している」と指摘。「病床確保が円滑にできるよう、制度の改善など必要な作業を国と共同でやっていかなくてはならない」と述べた。

年末年始の医療態勢を確保するための緊急対策として、医療機関や薬局への助成▽在宅療養者に対する夜間の相談窓口に医師を配置▽児童福祉施設や学校の保健衛生用品購入一などを挙げている。

他にも第8波対策として、第7波の1日当たりの新規感染者が最大約1200人だったことを踏まえ、それを上回る1日最大2000～3000人の新規感染者発生を想定。陽性者コンタクトセンター、保健所、疫学調査、クラスター調査を担う県職員の応援態勢を構築し、今後の感染拡大に備える。【山田泰正】